

# 観成園だより

発行：特別養護老人ホーム 観成園  
長野県駒ヶ根市赤穂 3214-1  
tel(0265)83-1611 fax(0265)83-1616  
ホームページ：http://inanfukushi.or.jp

## 木々も色づき 秋本番です

2階 AB 棟廊下よりの眺め



## 北割保育園交流会



北割保育園年少・年長さん  
25名の園児の皆さんが  
交流に来てくれました。

- ・どんぐり
  - ・幸せなら手をたたこう
  - ・パプリカ
  - ・秋
  - ・てくてくお話ししよう
- 歌や踊りの発表をして  
くださいました。  
とっても上手にかわい  
くできましたよ。







# 入浴担当（フリー）職員紹介



～主に入浴を担当してくださっている職員の皆さんをご紹介します～



はしずめ かおる  
橋都 薫

よしざわ さとこ  
吉澤 里子

かとう はづき  
加藤 波月

まつした すみこ  
松下 澄子

ひらばやし ゆきえ  
平林 由紀江

**好きな食べ物**  
「カレー」  
**趣味**  
「パソコン」

**好きな食べ物**  
「柿のたね」  
**趣味**  
「手芸」

**好きな食べ物**  
「いくら・うに」  
**趣味**  
「ディズニー」

**好きな食べ物**  
「寿司」  
**趣味**  
「ドライブ」

**好きな食べ物**  
「モロッコいんげん」  
**趣味**  
「お菓子作り」

## 1・2階 AB棟廊下木彫りが変わりました

見てみてね 🤪 🔍



題名「だるま」  
作者：竹内昭夫作

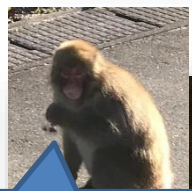
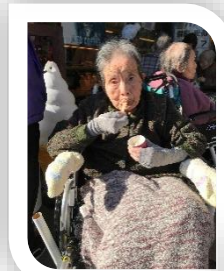


題名「鳥獣戯画」  
作者：戸田俊邦作



# 秋の散策

「午前の部、午後の部に分かれて25人ほどの入所者さんが参加されました。当日は、紅葉にも天気にも恵まれ駒ヶ根の秋を体感できました。お茶にパンやソフトクリーム、ある方はソースカツ丼を食べ、お土産を買って帰ってきました。希望者はご家族と参加し良い思い出作りができました。」



また来ておくれ





耳にかすれる音がした。それはおそらく虫の鳴く声である。

「もうすぐ秋が来るわね」

ふふっと隣に座っている猫に語りかける。それにまるで返事をするようにニャーっと一つ鳴いて見せてくれた。そんな猫の頭を撫でながら空を見上げる。

「いい天気ね」

青空がこちらを照らしてくれるようである。また猫に話しかけると彼女はまた一つ鳴いた。

「頭のいい子ね」

こっちにおいでと手を出す。しかし彼女はそれだけは嫌なようで顔を背けてしまった・・・非常に残念である。

「気分屋さんね」

まるであの子のよう・・・あら、あの子って誰だったかしら。

記憶の片隅にいる存在を思い出そうとしても私の頭にはもやがかかったように何も見えなかった。なんだか寂しい気持ちになる。

にゃあ。

こちらを呼ぶように猫が鳴いた。

「あら、どうしたの？」

猫はこちらをただ見ていた。それからまた一つ鳴く。何かを話したいみたいで私はふふっとまた笑った。

ガラガラ。

「おばあちゃん、またお外にいたの？」

扉を開けたのはまだ小学生くらいの孫だった。猫は孫を見るとにゃあと甘えたように近づく。この猫は孫のことが大好きなのだ。

「ニケはまたおばあちゃんの相手をしていたの」

にゃあ。

「まあ、私が相手をしてあげていたのよ」

ふふんと言うと孫がこちらを呆れたように見ている。

「おじいちゃんが呼んでたよ」

「あら、何かしらね」

よいしょ、と重くなってしまった腰を上げる。それから孫と、その手に抱きこまれている猫を見る。

にゃあ。

猫は一つこちらに鳴いて見せた。きっと早く来いと言っているのだろう。

『タマは本当にわがままね』

昔近所の猫にそんなことを言ったのを不意に思い出した。

「タマ？」

そう呼ぶと猫はふふんはこちらを見るだけ。すると孫が溜息を吐いた。

「おばあちゃん、この子はニケだよ。タマじゃないって言っているじゃない」

まったくもう、なんて怒って部屋の中へと入って行ってしまふ。だけどそのときに孫の腕の中から抜けると猫はその場に座る。

「タマ？」

もう一度その名を呼ぶ。しかし返事はない。

「・・・そんなわけないわね。タマがいるはずないわ」

だってそれは数十年も前の話なのだから。馬鹿馬鹿しいと思いながら家へと入る私を猫はただじっと見ていた。



# 猫と私

## 編集後記

先日、演歌体操はなみずきさんが、ボランティア活動で来園されたときに、星影のワルツの替え歌で「幸せのワルツ」を歌って体操をしました。いつもこのような気持ちでいたいものです

